



はっとり 服部のりふみ

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

8月の豪雨では、幸いに市内では人的被害はありませんでしたが、家屋被害や浸水、そして道路、河川、農地、農業施設など市内では1,200箇所を超える被害がありました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。今後、復旧がスムーズに進むよう尽力していく所存ですので、よろしくお願い致します。

また、新型コロナ対策では、デルタ株の猛威による長期に渡る緊急事態宣言も解除され、ワクチン接種も進み次のステージへの動きも議論され始めていますが、収束を見据え希望の持てる取り組みを考えて参りたいと思います。

第4回議会定例会の内容

8月19日	議会全員協議会	議案等の説明がありました。
8月27日	議会本会議（議案上程）	執行部から9件の決算の承認と22件の議案が上程され、議案のうち5件の人事案件が同意され、ほかの議案は所管の常任委員会へ付託されました。その他、議会から「コロナ禍により厳しい財政事情に対処し地方財源の充実を求める意見書」が上程され議決されました。また、決算の承認にあたっては、決算特別委員会が議長と議会選出監査員の2名を除く16名で組織されました。（委員長は柘植孝彦、副委員長は林貴光です。）
9月2日	総務文教委員会	10件が承認されました。（所管部分承認1件）
	市民福祉委員会	11件が承認されました。（所管部分承認1件）
9月3日	経済建設委員会	1件が承認されました。（所管部分承認1件）
9月8日、9日	決算審査特別委員会	令和2年度の一般会計、特別会計、企業会計等9件の決算が承認されました。
9月16日	議会全員協議会	追加議案の説明がありました。
9月21日	一般質問	伊藤勝彦、林貴光、猿渡南江、安藤直実、柘植孝彦、服部紀史、平林多津子の7名が登壇
9月22日	一般質問、追加議案の上程、常任委員会	町野道明、佐々木透、秋山佳寛、後藤康司の4名が登壇、その後、追加議案2件が上程、委員会付託され、直ちに関係委員会が開催、承認されました。
9月30日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた19件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。また、9件の決算の承認についても委員長報告のもと、一件ごとに審査され、全て承認されました。

議決内容（主なもの）

決算の認定（9件）

1. 一般会計
2. 国民健康保険事業特別会計
3. 介護保険事業特別会計
4. 遠山財産区特別会計
5. 上財産区特別会計
6. 後期高齢者医療特別会計
7. 水道事業会計（企業会計）
8. 下水道事業会計（企業会計）
9. 病院事業会計（企業会計）

企業会計利益の処分及び決算の認定（1件）

- ・令和2年度の国民健康保険診療所事業会計

条例の制定（2件）

- ・押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定と新過疎法に基づく固定資産税の免除に関する条例制定

条例の一部改正（5件）

- いずれも法律等の改正に伴う条例改正（名称は省略）

1. 個人情報保護条例
2. 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
3. 手数料条例（マイナンバーカード再交付手数料を削除）
4. 固定資産税の特例に関する条例
5. 家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

補正予算（7件）

1. 一般会計 補正額 322,961 千円

- ・新型コロナウイルスに係る事業 99,615 千円
こども園での感染症対策用備品購入やワクチン接種の促進、市内企業や事業所を支援する経費等
- ・緊急対応を要する事業 96,781 千円
通学路の緊急安全対策や市道の緊急修繕等の経費
- ・国、県の補助金等を活用した事業 57,170 千円
道路整備やリニア基盤整備、農業基盤整備等
- ・前年度事業の精算等 72,051 千円
- ・他会計の予算補正に伴う事業 △4,177 千円

2. 国民健康保険事業特別会計 補正額 21,910 千円

- ・繰越金の確定に伴う財源補正と償還金を増額補正

3. 介護保険事業特別会計 補正額 11,555 千円

- ・繰越金の確定に伴う財源補正と基金積立金及び償還金を増額

4. 遠山財産区特別会計 補正額 0 円

- ・繰越金の確定に伴う財源補正

5. 上財産区特別会計 補正額 0 円

- ・繰越金の確定に伴う財源補正

6. 後期高齢者医療特別会計 補正額 15,046 円

- ・繰越金の確定に伴う財源補正と広域連合納付金の増額

7. 病院事業会計（企業会計）

- ・医療機器備品整備のため収益的收入を5,000千円、資本金的收入を3,000千円それぞれ増額

その他の議案（2件）

- ・新過疎法に基づく計画策定（山岡、明智、串原、上矢作地区）
※新たに山岡、明智地区が指定され計画も策定されました。（人口減少率、高齢者比率、若年者比率による判定）
- ・辺地総合整備計画の変更（飯地辺地）

人事案件（5件）

- ・人権擁護委員5名が候補者として推薦、同意されました。
岩村町内では、堀尾佳裕さんが再任されました。（任期：令和4年1月1日～令和6年12月31日）

追加補正予算（2件）

いずれの会計も8月豪雨による災害復旧費です。

1. 一般会計 補正額 1,628,772 千円

2. 水道事業会計 補正額 53,300 千円

※町内の土木、農地等以外の主な災害復旧費

- ・岩村城跡出丸法面崩壊 2,185 千円
- ・岩村城跡追手門付近の登城路面流失 4,182 千円
- ・岩村城址銅像山公園通路路肩崩壊 994 千円
- ・丸山墓地法面崩壊 7,947 千円
- ・乗政寺山墓地法面崩壊 7,026 千円

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われています。今回の一般質問は、私の政策テーマであります「希望のもてる地域づくり」の第四弾として、「災害に強いまちづくり」と「リニアを生かしたまちづくり」を取り上げ一般質問を行いました。以下に主な質問と、執行部からの答弁を要約により紹介します。

災害に強いまちづくり

(質問の背景)

8月豪雨において、岩村地域には避難指示が発令されませんでしたでしたが、大きな被害を被りました。避難発令区分が度々変更され意味が分からないとか、応急対応を消防団に頼り過ぎではとの意見もありましたので、執行部の考えを確認しました。

質問 避難区分の変更の内容と市民への周知は？

回答 今年から避難勧告が無くなり、避難指示に統合された。市民への周知は、広報えなでの特集や資料を作成し、出前講座等で周知している。(総務部長)

質問 岩村地域には避難指示が発令されませんでしたでしたが、今回の豪雨による避難情報の発令に関する評価は？

回答 全体的には、基準に基づき適正に指示が発令できたと感じているが、今後は、気象情報に頼り過ぎないよう現地の状況も勘案してよりの確な判断をしたい。(総務部長)

質問 全国的に避難情報を発令しても、実際の避難に繋がらないことが課題とされていますが、今回の状況と評価は？

回答 過去の避難発令と大きく異なることは無く、市内全体で20世帯程度の避難者であった。今後も引き続き啓発等に努めたい。(総務部長)

質問 法改正により個別避難計画の策定が地方自治体に努力義務としてされましたが、取り組みの考えは？

回答 これまで大井町、長島町、笠置町以外の地域自治区では、自主的な取り組みがなされ、何らかの形になっています。策定されていない地域への支援を実施したい。(総務部長)

質問 災害時の消防団員の出動基準は？

回答 自然災害の場合は各種警報発令時で、地震の場合は震度4以上、その他では団長要請で河川の増水等、住民に被害が及ぶ恐れがあるときなど。(消防長)

質問 今回の出動は長時間に渡り、団員に大きな負担がかかったと聞いていますが、交代などの負担軽減の対策は？

回答 団長から団員の交代等を考慮するよう指示がされていたが、被害が集中した地域ではそのような事態となってしまった。今後は、市職員を派遣するなどの応援をしたい。(消防長)

質問 消防団員の減少も活動に制限を受ける要因かと思うが、団員確保の対策の状況は？

回答 条例定員1,420名に対して、本年9月時点で1,006名である。コロナの影響もあり個別訪問による勧誘もできず苦労しているが、地域との連携を図りながら加入促進に努めたい。(消防長)



リニアを生かしたまちづくり

(質問の背景)

リニア効果を生かすことを目的に、リニアまちづくり構想が平成25年度に策定されています。地域の観光関係者もリニア開業に大きな期待を抱いてみえますが、そうした期待が具現化されるのか不透明な状況にあると感じていましたので、改めて構想の内容や進捗状況、今後の取り組みの方針等について執行部の考えを確認しました。

質問 リニアまちづくり構想が目指すべき将来像は？

回答 「リニアでわくわく ちょうど えなー 暮らしのびのび、遊びウキウキ、仕事すいすい、未来のふるさとづくり」をキーワードに取り組みすることとしている。(建設部次長)

質問 三つの分野で整理されている、施策体系は？

回答 以下の分野別に体系づけられている。
1 観光振興・まちづくり、2 産業振興・地域振興、3 地域づくりを支える基盤整備(建設部次長)

質問 三つの分野の取り組み状況は？

回答 リニアまちづくり構想では、総合計画に内容を反映し構想の実現を図るものとしています。各分野での取り組みに対し、それぞれに個別計画を策定し、総合計画との整合を図りながら事業を進めている。具体的には、観光振興・まちづくり分野では、令和2年2月に恵那市観光ビジョンを、産業振興・地域振興分野では、平成30年3月に恵那市産業振興ビジョンを、そして、地域づくりを支える基盤整備分野では、令和元年12月に恵那市リニア基盤整備計画を策定し事業を推進している。(建設部次長)

質問 リニア開業時期を目標とした戦略的な事業の実施が必要では？

回答 リニアまちづくり構想に明示されているように、既存の観光資源を活用した観光振興の施策を進めるためには、地域住民や団体との共通理解の上で、連携した取り組みにより効果を生み出すことが重要と考えている。今後、リニア開業時期を見据え、観光資源活用の担い手となる地域との連携を大切に、協力関係を築く中で、意見や要望を聞きながら戦略的に事業実施を行っていききたい。(商工観光部長)

質問 歴史的観光資源として、先人顕彰を生かした人物観光の考えは？

回答 近年、観光の目的が多様化する中で、ご当地の先人の足跡を訪ね、その教えや業績を学ぶという人物観光は新たな観光の目的の一つになると考えています。佐藤一斎先生をはじめ、市内全域で先人30人として纏められるほど多数の先人を誇る恵那市は、観光誘客においてもその魅力を十分に発信し、迎えられる潜在能力があると考えます。来年度開催の、嚶鳴フォーラムを契機に観光振興の視点に「学ぶ」というキーワードを新たに加え、歴史観光資源の一つとして、効果的な発信や活用、観光誘客に結び付けられるよう検討を重ねていきます。(商工観光部長)

議会を終えて

本議会は、決算審査があり、そのために特別委員会が組織され、昨年より議員全員が委員として審査に臨むこととされています。

地方自治体は二代表制であり、議会はその一翼を担う意味においても、執行機関の監視は最も重要な役割であり、その分、内容の把握と適切な執行がなされていたのかを確認するのは大変な作業でありました。私も現役のころは、何を質問されるのか、納得いただける回答ができるよう準備をしたことを思い出しましたが、今回の質問に対しては丁寧な回答をいただき納得のできるものばかりでありました。また、8月豪雨に関する復旧予算が職員の努力により早くも追加議案として提出され議決されましたので、今後、順調に復旧も進むものと思います。

いわむらトピック

◎WRC(世界ラリー選手権)の中止

昨年に続き今年も中止となりました。但し、代替イベントとして国内の参加者によるセントラルラリーが開催される見通しです。(11月12日～14日)

◎全国山城サミットが来年開催予定

来年度、全国山城サミットが恵那市で開催される見通しとなりました。嚶鳴フォーラムも開催されますので、全国規模のイベントが二つもほぼ同じ時期に岩村を中心に開催されます。

◎恵那病院コミュニティバスの運行縮小

開院から5年間、試験的に運行してきた送迎バスが利用者の減少により11月1日から縮小されます。岩村地域は縮小の影響はありませんが、運行に変更(下線部分)がありますのでご注意ください。

運行日：毎週火曜日 乗降場所：岩村診療所 時刻：行き 8:40／帰り 12:50 (診療所着)



次号は、12月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見や感想をお聞かせください。